定例記者会見発表資料

一関市 ICHINOSEKI CITY　令和８年 10 月 13 日 午前 11 時

令和８年度市勢功労者表彰について

令和８年度の市勢功労者として５人の表彰を決定しました。

1　表彰者

区分	氏名	年齢	住所	主な功績
教育文化功労	小野寺（おのでら）　重次（しげじ）	94	舞川	岩手県指定無形民俗文化財である「舞川鹿子躍（ししおどり）」の保存、継承活動に尽力され、市の歴史、文化の発展に多大な貢献をされた。
教育文化功労	内田（うちだ）　正好（まさよし）	81	川崎町薄衣	特定非営利活動法人一関文化会議所理事長として、市民の文化活動の育成支援に尽力され、市の文化振興に多大な貢献をされた。
教育文化功労	皆川（みなかわ）　洋一（よういち）	78	藤沢町黄海	一関藤沢市民劇場実行委員長として、市民劇場の発展に尽力されるなど、多方面において活動され、地域文化の振興に多大な貢献をされた。
自治功労	千葉（ちば）　大作（だいさく）	78	萩荘	一関市議会議長として円滑な議会運営や議会改革に尽力されるとともに、市議会議員として農業振興の推進等に尽力され、地方自治の進展に多大な貢献をされた。
教育文化功労	藤野（ふじの）　静枝（しずえ）	74	大東町摺沢	国内外において児童福祉施設等でのボランティア公演などの活動に尽力され、子どもたちの健全育成に多大な貢献をされた。

（敬称略、年齢順

年齢は令和８年 11 月３日現在）

2　表彰式

⑴　日　時　　11 月３日（火・祝）　午前 11 時～正午

⑵　会　場　　ベリーノホテル一関（一関市山目字三反田 179）

問い合わせ先
〒021-8501　岩手県一関市竹山町７番２号
市長公室秘書課長　大内
電話:(0191)21－2111（内線 8172）FAX：(0191)21－2110
メールアドレス：hisyo@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市舞川

小野寺（おのでら）　重次（しげじ）

（94歳）

事績の概要

岩手県指定無形民俗文化財である「舞川鹿子躍（ししおどり）」の保存、継承活動に尽力され、市の歴史、文化の発展に多大な貢献をされた。

舞川鹿子躍は、太鼓踊系（たいこおどりけい）の行山流（ぎょうざんりゅう）に属し、元禄13年（西暦1700年）の由来書によると、陸奥国本吉郡水戸辺村（むつのくにもとよしぐんみとべむら）（現宮城県南三陸町）から相川村（現一関市舞川）に伝わったとされている。

この舞川鹿子躍の保存・継承を行う舞川鹿子躍保存会に昭和32年の結成時から参加し、平成14年１月から平成24年４月まで10年４か月の長きにわたり会長を務められた。この間、舞川地区の菅原神社祭礼奉納や盆の物故者供養（ぶっこしゃ）奉納での活動をはじめ、春・秋の藤原まつり、地域伝統芸能祭などに多数出演し、舞川鹿子躍の名を市内外へ発信されてきた。

地域の子どもたちへの伝承活動にも積極的に取り組まれたほか、女性や地域外からの参加にも門戸を開き、指導、継承に尽力されてきた。

また、道具作成の伝統も継承しており、平成24年には、東日本大震災で被災した南三陸町の水戸辺鹿子躍保存会に装束一式を寄贈し、水戸辺鹿子躍復活に寄与された。平成30年に一関市民俗資料館に寄贈した鹿子躍装束は、市民の民俗芸能への理解を深める貴重な資料となっている。

このほか、平成24年６月から令和３年３月まで一関市文化財調査委員を務められ、一関市の文化財の保存と伝承に寄与された。

長年にわたり、一関地方の民俗芸能の魅力を市内外へ発信するとともに、民俗文化財の保存、継承に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市川崎町薄衣

うち　だ　まさ　よし
内　田　正　好

（81 歳）

事績の概要

特定非営利活動法人一関文化会議所理事長として、市民の文化活動の育成支援に尽力され、市の文化振興に多大な貢献をされた。

平成25年５月に特定非営利活動法人一関文化会議所理事に就任され、平成26年11月から令和８年５月まで11年６か月の長きにわたり理事長として同会議所をけん引された。

この間、市民向け文化講座「一関ふるさと学習院」の開催、「一関地方ゆかりの人物事典」の発刊及び市内全中学生への配布、さらに子どもの教育・文化振興を目的とした「東大生出前科学事業」を軌道に乗せるなど、地域の文化芸術振興、歴史の再認識、児童生徒の育成支援に大きく寄与された。

また、高校国語教員としての経験を生かし、学校、図書館、地域団体等からの依頼に応じて古典文学や岩手ゆかりの作家作品の学習指導、家庭教育や教養講座の講師、川柳同好会の指導者として地域の社会教育に貢献されている。

特に、川崎地域をはじめ各地域の小学校において、古典文学や俳句の指導に加え、地域の歴史や先人を題材に取り上げ、郷土の誇りある歴史を分かりやすく伝えることにより、次代を担う子どもたちにふるさとへの愛着を育むことに尽力されている。

長年にわたり、地域の文化活動に尽力され、市の文化振興、社会教育の推進に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市藤沢町黄海

皆川洋一（みなかわよういち）

（78 歳）

事績の概要

一関藤沢市民劇場実行委員長として、市民劇場の発展に尽力されるなど、多方面において活動され、地域文化の振興に多大な貢献をされた。

平成11年の藤沢町民劇場の創設に当たって、藤沢町民劇団の旗揚げに尽力され、初代団長を務められた。平成26年からは一関藤沢市民劇場実行委員会実行委員長、令和４年からは同実行委員会顧問を歴任されたほか、平成12年の第１回公演で原作・脚本・演出を手掛けて以降、中核的な役割を担い、令和７年の最終公演まで26年にわたり市内外における各公演を成功に導き、市民劇場の発展に寄与された。

また、平成16年には「かねはらっ亭よ～」の芸名で落語家としてデビュー。毎年浅草東洋館の定期落語会に出演するほか、奉納落語披露、館ヶ森高原ホテルで開催された「館ヶ森寄席」への出演など、活動の幅を広げながら地域文化の普及に貢献されている。

このほか、地域づくりをテーマとした講演活動や一関コミュニティＦＭのパーソナリティを務めるなど、多方面にわたり地域文化の振興と情報発信に寄与されている。

また、藤沢野焼祭においては、実行委員会イベント部長、実行委員長、同実行委員会顧問を歴任し、長年にわたり実行委員会の中心として祭りの普及と発展に尽力されてきた。

長年にわたり、幅広い分野で活動され、地域文化の振興及び地域の活性化に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市萩荘

千葉大作（ちばだいさく）

（78歳）

事績の概要

一関市議会議長として円滑な議会運営や議会改革に尽力されるとともに、市議会議員として農業振興の推進等に尽力され、地方自治の進展に多大な貢献をされた。

平成８年１月に旧一関市議会議員となられて以来、令和７年10月までの通算８期29年９か月の長きにわたり市議会議員を務められた。この間、平成25年10月から平成29年10月までの４年間、一関市議会議長を務められ、円滑で効率的な議会運営に尽力されるとともに、市民に開かれた議会を目指し、議会改革にも積極的に取り組まれた。

また、市町村合併対策特別委員会委員長、建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員長及び産業経済常任委員会委員長を歴任され、社会基盤の整備、地場産業の振興、都市と農村の均衡ある発展など多方面にわたって取り組まれ、市民が安心して暮らせるまちづくりに尽力された。

特にも、市の基幹産業である農業については、将来を見据えた積極的な活動により農業経営基盤の確立強化や食の安全確保に尽力され、地域住民による持続的な農業振興の推進に寄与された。

また、平成24年から市野々土地改良区理事長を務められ、平成25年から12年の歳月をかけて令和７年に完了した「県営中山間地域総合整備事業市野々地区」の事業推進などに尽力された。

長年にわたり、市議会議員として一関市の発展と住民福祉の向上に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市大東町摺沢

ふじ　の　しず　え
藤　野　靜　枝

（74 歳）

事績の概要

国内外において児童福祉施設等でのボランティア公演などの活動に尽力され、子どもたちの健全育成に多大な貢献をされた。

平成元年に手話サークル、平成４年に人形劇サークル、平成６年に腹話術サークルを結成。代表を務めながら障がい者施設、保育園及び学校等への慰問活動や、人形劇公演などのイベントを開催し、子どもたちに夢や希望を与え続けるとともに、会員相互の交流の輪を広げながら、地域で子どもたちを育てることの大切さを伝える活動に尽力されてきた。

平成６年からは、腹話術人形の「ダイちゃん」とともに、海外の小児病棟、孤児院、小学校等を訪問し、現地の言葉による腹話術の公演を開催。これまで11か国を訪問し、のべ４万人以上の子どもたちと交流するなど、海外においても積極的に活動をされてきた。また、地元の小学生をはじめとした日本の子どもたちの絵画等の作品を持参し、訪問国の子どもたちの作品と交換して帰国後展示するなど、国際交流、多文化交流の推進にも寄与されてきた。

平成19年からは、入院中の子どもたちに笑いを届ける腹話術公演の活動を行い、岩手医科大学で定期的に訪問活動を続け、医療の現場においてもその活動に尽力されている。

長年にわたり、ボランティアや国際交流など多岐にわたる分野で、子どもたちの健全育成及び地域交流事業の振興に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市市勢功労者名簿

※( )内は受賞時年齢、敬称略

平成 22 年度〔16 名〕

浅　井　東兵衛	(83)	【自治功労】	一関　男
坂　本　紀　夫	(69)	【自治功労】	一関　男
佐　藤　正　勝	(66)	【自治功労】	一関　男
田野﨑　捷　吾	(72)	【自治功労】	花泉　男
小　原　伸　元	(75)	【自治功労】	大東　男
菊　地　宏　雄	(67)	【自治功労】	千厩　男
松　川　　誠	(75)	【自治功労】	東山　男
佐　藤　久　耕	(69)	【自治功労】	東山　男
小　山　　寛	(75)	【自治功労】	室根　男
千　葉　　荘	(61)	【自治功労】	川崎　男
佐々木　時　雄	(70)	【自治功労】	一関　男
伊　藤　　力	(78)	【自治功労】	川崎　男
佐　藤　拓　郎	(78)	【教育文化功労】	一関　男
(故)北村　健郎	(享年 69)	【教育文化功労】	千厩　男
須　田　利　治	(74)	【産業功労】	一関　男
八　島　松四郎	(81)	【民生功労】	一関　男

平成 23 年度〔３名〕

千　葉　政　吾	(79)	【教育文化功労】	大東　男
大　畑　孝　夫	(74)	【教育文化功労】	一関　男
懸　田　　等	(74)	【産業功労】	大東　男

平成 24 年度〔３名〕

田　島　英　一	(86)	【教育文化功労】	一関　男
杉　内　　巖	(83)	【教育文化功労】	一関　男
田　嶋　徳　穂	(78)	【民生功労】	一関　男

平成 25 年度〔５名〕

畠　山　　博	(65)	【自治功労】	藤沢　男
佐　藤　誠　之	(79)	【教育文化功労】	花泉　男
小野寺　妙　子	(82)	【教育文化功労】	花泉　女
宇　部　貞　宏	(76)	【産業功労】	一関　男
佐　藤　　勲	(69)	【産業功労】	一関　男

平成 26 年度〔７名〕

西　城　　健	(78)	【教育文化功労】	一関　男
佐　原　得　司	(84)	【産業功労】	一関　男
佐　藤　鐵　治	(83)	【産業功労】	東山　男
小　岩　丈　郎	(76)	【産業功労】	一関　男
大　澤　弘　毅	(78)	【民生功労】	一関　男
千　葉　弘　記	(78)	【民生功労】	一関　男
似　内　一　雄	(75)	【民生功労】	一関　男

平成 27 年度〔９名〕

阿　部　　睦	(83)	【自治功労】	一関　男
小野寺　興　輝	(73)	【自治功労】	東山　男
藤　野　宣　子	(83)	【教育文化功労】	千厩　女
杉　内　　愛	(79)	【教育文化功労】	一関　女
阿　部　興　紀	(76)	【教育文化功労】	一関　男
鈴　木　昭　男	(81)	【産業功労】	東山　男
鈴　木　長　壽	(79)	【産業功労】	一関　男
鈴　木　英　一	(73)	【産業功労】	東山　男
阿　部　弘　子	(78)	【民生功労】	一関　女

平成 28 年度〔６名〕

小　山　謂　三	(79)	【自治功労】	室根　男
芦　　文八郎	(96)	【教育文化功労】	大東　男
後　藤　　健	(81)	【教育文化功労】	花泉　男
梁　川　昭　祐	(76)	【教育文化功労】	一関　男
木　村　力　夫	(76)	【教育文化功労】	一関　男
白　澤　剛　一	(77)	【産業功労】	一関　男

平成 29 年度〔３名〕

及　川　和　男	(84)	【教育文化功労】	一関　男
小　原　美樹夫	(77)	【教育文化功労】	大東　男
菅　原　正　二	(75)	【教育文化功労】	一関　男

平成 30 年度〔５名〕

大　森　忠　雄	(81)	【消防功労】	一関　男
佐　山　昭　助	(77)	【教育文化功労】	大東　男
鈴　木　　功	(74)	【教育文化功労】	大東　男
伊　藤　達　朗	(77)	【産業功労】	一関　男
岩　渕　一　美	(71)	【産業功労】	一関　男

令和元年度〔４名〕

小野寺　　苓	(87)	【教育文化功労】	一関　女
入間田　宣　夫	(77)	【教育文化功労】	仙台市　男
本　多　洋　之	(75)	【教育文化功労】	一関　男
千　葉　繁　美	(83)	【産業功労】	室根　男

令和２年度〔４名〕

小　梨　浩　子	(89)	【教育文化功労】	一関　女
蓬　田　　稔	(88)	【教育文化功労】	一関　男
小　嶋　喜久子	(88)	【教育文化功労】	一関　女
白　石　惠　一	(75)	【教育文化功労】	千厩　男

令和３年度〔３名〕

佐　藤　義　光	(85)	【産業功労】	一関　男
菅　原　啓　祐	(82)	【自治功労】	一関　男
佐　藤　晄　僖	(80)	【産業功労】	一関　男

令和４年度〔４名、１グループ〕

勝　部　　修	(72)	【自治功労】	一関　男
槻　山　　隆	(70)	【自治功労】	一関　男
伊　藤　公　夫	(79)	【産業功労】	東山　男
藤　堂　隆　則	(76)	【教育文化功労】	花泉　男
Ｎ．Ｓ．Ｐ	(－)	【教育文化功労】	一関　男

令和５年度〔４名〕

昆　野　洋　子	(81)	【産業功労】	千厩　女
三　浦　幹　夫	(77)	【民生功労】	室根　男
伊　藤　　稔	(74)	【教育文化功労】	東山　男
海　野　正　之	(76)	【産業功労】	川崎　男

令和６年度〔４名〕

千　葉　秀　子	(83)	【産業功労】	川崎　女
佐　藤　修　藏	(80)	【教育文化功労】	千厩　男
須　藤　彌志正	(79)	【産業功労】	一関　男
佐　藤　鉱　一	(75)	【産業功労】	藤沢　男

令和７年度〔４名〕

小　森　洋　子	(81)	【民生功労】	一関	女
千　葉　京　子	(81)	【民生功労】	一関	女
佐　藤　育　郎	(77)	【教育文化功労】	東山	男
橋　本　志　津	(76)	【教育文化功労】	藤沢	女